



公益財団法人 ふくおか環境財団

FUKUOKA ENVIRONMENT FOUNDATION

廃棄物埋立管理技術普及啓発事業【福岡方式】

ふくおか環境財団では、開発途上国や国内技術者の研修員を受け入れ、ごみ埋立技術「福岡方式」の技術研修を行っています。

「福岡方式」とは・・・

福岡市と福岡大学が共同開発した廃棄物埋立技術の「福岡方式（準好気性埋立構造）」は、埋立場の底部に炭石と有孔質からなる浸出水排水管（集排水管）を設けることで通気と排水を同時に行い、好気性バクテリアの働きにより廃棄物の分解を促進し、有毒ガスである硫化水素や地球温暖化の原因物質であるメタンの発生を抑制するとともに、浸出水を浄化する働きのある埋立構造です。

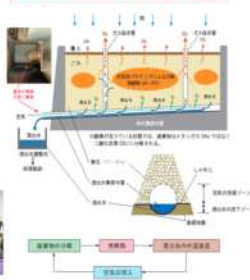
平成23年7月には、「福岡方式」による既存埋立場の改善が、国連気候変動枠組条約で規定するクリーン開発メカニズム（CDM）の手法として認定されました。

JICA・全産連研修の受託

当財団では、JICA（独立行政法人国際協力機構）や全産連（全国産業資源循環連合会）より研修を受託し、国内外の技術者に対して、福岡方式をはじめとする廃棄物埋立管理技術について福岡大学と福岡市の協力のもと市埋立場での実地研修を含むプログラムを実施。理論と実技それぞれの面から技術の向上に取り組んでいます。



福岡方式（準好気性埋立構造）の概念



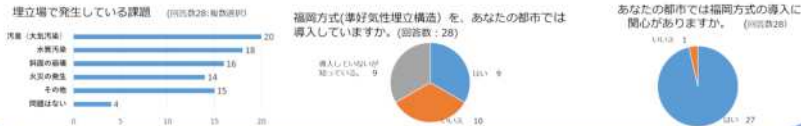
※当財団での研修実施の実績

年度	国際協力機構（H12年度から実施）	全国産業資源循環連合会（H17年度から実施）
H12年度	国別研修「マレーシア国廃棄物埋立技術研修」 4名	
H13年度	国別研修「マレーシア国廃棄物埋立技術研修」 5名	
(中略)		
R元年度	課題別研修「準好気性（福岡方式）処分場の設計・維持管理」 1社 4国別研修「福岡方式」導入を通じた廃棄物管理改善」 11名	技術研修「最終処分場維持管理技術研修会」 44名
R2年度	課題別オンライン研修「準好気性埋立（福岡方式）処分場の設計・維持管理」 4名	—
R3年度	課題別オンライン研修「準好気性埋立（福岡方式）処分場の設計・維持管理」 11名	技術研修（オンライン）「最終処分場維持管理技術研修会」 136名
計	31か国 193名 参加	573名 参加

今後、国内技術者も含め「福岡方式」に係る研修の更なる充実を図ってまいります。

開発途上国への廃棄物埋立場に関するオンライン調査

過去のJICA海外研修生を含む海外技術者に対して福岡市が令和3年度に実施した調査によれば、約半数の都市で埋立場における火災や環境汚染などの問題を抱え、福岡方式の導入に関心を示していることがわかりました。海外での埋立場での課題解決に福岡方式の普及促進が期待されています。



災害廃棄物収集支援



令和元年7月、福岡市と当財団の間で「災害廃棄物の収集・運搬に関する協定」を締結し、この協定に基づき、当財団から収集車両と職員を被災地に派遣し、災害廃棄物の収集、運搬支援を行っています。

開発途上国へのバックカーの寄贈



平成29年5月、廃棄物処理技術の普及に関する国際協力事業に関する一環として、国連ハビタット及び日本外交協会を通じて、ケニア国キアンバ県へごみ収集車を寄贈しました。
また、平成31年2月、現地へ職員を派遣し、バックカーによる安全な収集作業に関する研修及び車両メンテナンスに関する研修を行いました。

その他主な事業紹介

- 一般廃棄物収集運搬
家庭ごみ収集、事業系ごみ収集、し尿収集
- 家庭系ごみ処理手数料徴収事務
福岡市家庭用ごみ袋の調達等
- 粗大ごみ受付センター管理運営
令和4年から福岡市の環境ごみ処理センターの一部に、バイオマスプラスチックを25%以上配合した袋を導入。
- 環境学習事業
令和3年度の実績は、平成29年度比で、80%増！
- 環境啓発事業
留守家庭子ども会出前講座
コンポスト学習
- 環境啓発事業
夜間ごみ収集見学会
ラプアース・クリーンアップ
「環境フェスティバル」
いとこぎやま祭り
西区環境フェスタ
各種イベントに出展
- リサイクルプラザ管理運営
3Rに関する啓発を行う施設の管理運営

所在地／福岡市中央区那の津2丁目10番15号
問合せ先／総務部 企画・啓発課
TEL：(092) 731-2704 FAX：(092) 731-2706
<http://www.f-kankyo.or.jp>

設立年月日／昭和44年7月1日

